

名古屋市立大学人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、名古屋市立大学学則（平成18年公立大学法人名古屋市立大学学則第1号）第40条の3及び名古屋市立大学大学院学則（平成18年公立大学法人名古屋市立大学学則第2号）第10条の2の規定に基づき、学部及び研究科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的について定める。

(一部改正 令和5年達第59号)

(学部ごとの目的)

第2条 学部ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別表第1のとおりとする。

(研究科ごとの目的)

第3条 研究科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別表第2のとおりとする。

(その他)

第4条 この規程に定めるもののほか、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的に関し必要な事項は、学部教授会又は研究科教授会の議を経て、学長が定める。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和3年公立大学法人名古屋市立大学達第4号）

この規程は、発布の日から施行する。

附 則（令和5年公立大学法人名古屋市立大学達第59号）

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和7年公立大学法人名古屋市立大学達第23号）

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

附 則（令和7年公立大学法人名古屋市立大学達第24号）

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

附 則（令和7年公立大学法人名古屋市立大学達第42号）

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

別表第 1 (第 2 条関係)

学部	学部ごとの人材の養成に関する目的 その他の教育研究上の目的
医学部	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>(1) 医学科</p> <p>ア 人間味にあふれ、深い医学知識と技術を備えた医師を育成すること。</p> <p>イ 人類の未来に貢献する医学研究を行い、その成果を社会に還元すること。</p> <p>ウ 名古屋都市圏の中核医育機関として地域住民の健康と福祉増進に貢献できる医師を育成すること。</p> <p>(2) 保健医療学科</p> <p>豊かな人間性と健康に関する幅広い知識を基盤とし、科学的根拠と倫理観に基づく実践能力を養うこと。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>(1) 医学科</p> <p>ア 科学者としての医師を養成すること。</p> <p>イ 臨床家としての医師を養成すること。</p> <p>ウ 社会における医師を養成すること。</p> <p>エ プロフェッショナルとしての医師を養成すること。</p>

	<p>(2) 保健医療学科</p> <p>ア 幅広い教養を育み豊かな人間性を養うこと。</p> <p>イ 科学的根拠に基づいて判断できる力と社会の変化に対応できる実践力を養うこと。</p> <p>ウ 保健医療サービスを受ける人々や提供する側の諸職者との協力的関係を調整する力を養うこと。</p> <p>エ 地域的問題から国際的問題まで幅広い視野を持って人々の健康を考える力を養うこと。</p>
<p>薬学部</p>	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>(1) 薬学科においては、医療薬学及び関連分野の教育研究を通じ、適正な医療・保健衛生等の推進に貢献できる人材を養成すること及び情報発信を行うこと。</p> <p>(2) 生命薬科学科においては、創薬生命科学及び関連分野の教育研究を通じ、医薬品・医療関連技術の開発等の効率的な推進に貢献できる人材を養成すること及び情報発信を行うこと。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>(1) 薬学科においては、医薬品と薬物療法に関わる医療科学を総</p>

	<p>合的に修得し、薬剤師をはじめ、医療に関わる様々な分野で薬の専門家として貢献できる人材を養成すること。</p> <p>(2) 生命薬科学科においては、創薬に必要な、物質と生命についての幅広い知識と技術を修得し、それを基盤にした医薬品の開発研究者をはじめ、生命科学と医療の発展に貢献できる人材を養成すること。</p>
<p>経済学部</p>	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>経済学や経営学に関わる高度な研究とそれに基づく教育を通じて、先端的な学術成果の創造と人材の育成を行い、地域や世界に貢献すること。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>(1) 経済学や経営学の教育研究を通じて、自治体や企業における政策を立案・分析・評価する方法を修得した人材を育成すること。</p> <p>(2) 様々な組織のマネジメントの仕組みを経済学や経営学の視点から理解し、かつ国際感覚を持った人材を育成すること。</p> <p>(3) 経済学や経営学に裏打ちされた専門知識を備えた高度専門職業人として、企業・団体が抱え</p>

	<p>る問題解決を支援できる人材を育成すること。</p> <p>(4) 経済学や経営学の発展に寄与する人材を育成すること。</p>
<p>人文社会学部</p>	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>豊かで人間らしい生き方を探求するため、持続可能な地域社会と地球社会をつくる研究を人文科学・社会科学諸分野から総合的に実施し、科学の目と豊かな人間観を持ち、人の多様性を理解し、生涯発達の支援・次世代育成に貢献する能力、複雑な現代社会の姿を深く認識し、社会の抱える諸課題の実践的な解決について考える能力、異文化と自文化の理解、異文化間の交流と共生について多面的に考え、行動する能力を身につけること。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>(1) 心理教育学科においては、心理学・教育学を基礎として、人間の多様性を尊重し、生涯発達の支援・次世代育成に取り組むことのできる人材及び人間の個性、生涯発達の過程、また環境との関係の中で生じる多様性について総合的に理解することで、子どもの発達に関わる現代的諸課題の解決及びその健やか</p>

	<p>な発達を保障する教育と心理的支援に貢献できる人材を養成すること。</p> <p>(2) 現代社会学科においては、地域社会で現に生起している社会問題群を的確に認識する社会調査・分析能力を備えた人材及び多様性・多元性が高まる社会の中で、差異を認め、格差を乗り越える社会インフラのあり方を学び、地域社会の発展や協働・福祉に貢献する人材を養成すること。</p> <p>(3) 国際文化学科においては、人間科学・社会科学諸分野の幅広い教養を身につけ、グローバルかつローカルな視点から自文化と異文化の相互関係を理解して、文化と社会の特質を批判的かつ柔軟に把握することができる人材及び英語その他の外国語の実践的な言語コミュニケーション能力を発揮して、地域社会と国際社会に貢献しうる人材を養成すること。</p>
芸術工学部	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>(1) 情報環境デザイン学科においては、情報通信工学、メディア工学などを基盤とし、インターフェイス、映像・音響など情報</p>

	<p>デザインに関わる専門能力を養うための理論と実践の教育を行うこと。</p> <p>(2) 産業イノベーションデザイン学科においては、機械・電気工学、情報工学などを基盤とし、グラフィック、プロダクトなど産業デザインに関わる専門能力を養うための理論と実践の教育を行うこと。</p> <p>(3) 建築都市デザイン学科においては、インテリアや建築から都市にいたるまでの広範囲な計画やデザインに重点をおき、安全・快適・健康な環境に寄与する建築、まちづくりなどに関わる専門能力を養うための理論と実践の教育を行うこと。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>(1) 数理学の基礎学力と、発想力、造形力を身につけ、デザインの力で社会に貢献することを目指す人材を養成すること。</p> <p>(2) 「技術」、「感性」、「人間理解」を3本の柱に、幅広い視野と教養、創造性豊かで高度な知識と技術を身につけ、地域社会及び国際社会に貢献できる総合デザイナーを養成すること。</p>
総合生命理学部	1 教育研究上の目的

	<p>生命科学を中心として理学の基礎を総合的に理解した上で、各自の専門分野の教育研究を行い、既存の学問分野の枠を超えて柔軟な思考のできる人材を育成し、地域に貢献すること。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>(1) 生命科学を中心に、自然科学全般と数理情報科学の基礎を身に付けた上で専門分野を学修することで、柔軟な思考ができる人材を養成すること。</p> <p>(2) 理学の総合的な学修を通じて、情報収集力、論理的思考力、企画力、実行力を備え、イノベーションの創出に貢献する人材を養成すること。</p> <p>(3) グローバルな視野を持ち、地域社会の発展に貢献する人材を養成すること。</p>
データサイエンス学部	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>統計学や情報工学を横断的に活用し、社会における膨大なデータから有益かつ新たな知見を引き出すことを通じて、社会と地域における諸課題の解決に取り組み、社会の発展に貢献できる実践的な能力を養成すること。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>IT、ビジネス、医療など社会に</p>

	<p>における情報技術及びデータ活用に関する様々な事象や課題に興味と関心を持ち、統計学、数学及び情報工学の体系的な知識と技術、さらには経済学の基礎知識を応用して社会に存在する膨大なデータの収集、管理、分析することで、事象を客観的に実証分析し、社会課題の解決策の立案に実践的に取り組める能力を習得した人材を養成すること。</p>
--	---

(一部改正 令

和 3 年達第 4 号、令和 5 年達第 59 号、令和 7 年達第 23 号、令和 7 年達第 24 号)

別表第 2 (第 3 条関係)

研究科	課程	研究科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
医学研究科	修士課程	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>(1) 高度な専門教育および学際的な研究指導を行い、医科学の専門知識を有する研究者および技術者を育成すること。</p> <p>(2) 人類の未来に貢献する医学研究を行い、その成果を社会に還元するこ</p>

		<p>と。</p> <p>(3) 名古屋都市圏の中核医育機関として地域住民の健康と福祉増進、より広い人類的視野から医学発展に貢献できる研究者・技術者を育成すること。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>高度な専門教育を行い、医科学の専門知識を有する職業人と将来の博士課程進学を含む研究者を養成すること。</p>
	<p>博士課程</p>	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>(1) 高度な専門教育および研究指導により、医学研究および医学教育を担う人材を育成すること。</p> <p>(2) 人類の未来に貢献する医学研究を行い、その成果を社会に還元すること。</p>

		<p>(3) 名古屋都市圏の中核医育機関として地域住民の健康と福祉増進、より広い人類的視野から医学発展に貢献できる医学研究者を育成すること。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>独創的な研究を行う最先端の医学研究者、先端的な医療知識・技術を有した臨床医、さらにはそれらの知識・技術に基づき、医学教育を担い得る人材を養成すること。</p>
薬学研究科	博士前期課程	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>創薬生命科学及び関連分野の教育研究を通じ、医薬品・医療関連技術等の高度化に貢献できる人材を養成すること及び情報発信を行うこと。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p>

		<p>薬学領域を基盤とした幅広い知識と深い専門性、革新的研究を目指し生命薬学・創薬科学に携わる創造性豊かな卓越した能力、広い視野と高い倫理観を持ち教育・行政等の現場で活躍できる卓越した能力、問題解決能力を有し、活躍を期待できる人材を養成すること。</p>
	<p>博士後期課程</p>	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>(1) 創薬生命科学専攻においては、創薬生命科学及び関連分野の教育研究を通じ、医薬品・医療関連技術等の最先端の開拓に貢献できる人材を養成すること及び情報発信を行うこと。</p> <p>(2) 共同ナノメディシン科学専攻においては、薬学と工学を融合した教育</p>

		<p>研究を通じ、医療関連ナノ技術等の最先端の開拓に貢献できる人材を養成すること及び情報発信を行うこと。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>(1) 創薬生命科学専攻においては、薬学領域を基盤とした幅広い知識と深い専門性、革新的研究を目指し生命薬学・創薬科学に携わる創造性豊かな卓越した能力、広い視野と高い倫理観を持ち教育・行政等の現場で活躍できる卓越した能力、問題解決及び課題設定の能力を有し、国際的な活躍の期待できる高度に指導的な人材を養成すること。</p> <p>(2) 共同ナノメディシン科学専攻にお</p>
--	--	--

		<p>いては、ナノマテリアル・ナノデバイス関連分野に対する深い学識と技術、問題解決及び課題設定の能力を有し、創薬をはじめ機能性食品・化粧品などの産業分野の発展に貢献できる人材を養成すること。</p>
	<p>博士課程</p>	<p>1 教育研究上の目的 医療薬学及び関連分野の教育研究を通じ、医療・保健衛生関連技術等の高度化及び最先端の開拓に貢献できる人材を養成すること及び情報発信を行うこと。</p> <p>2 人材の養成に関する目的 薬学領域を基盤とした幅広い知識と深い専門性、革新的研究を目指し環境衛生薬学・医療薬学に携わる創造性豊かな卓越した能力、広い視野</p>

		と高い倫理観を持ち教育・行政・医療等の現場で活躍できる卓越した能力、臨床研究能力（問題解決及び課題設定の能力）を有し、指導的薬剤師あるいは医療薬学教育・研究者として活躍の期待できる人材を養成すること。
経済学研究科	博士前期課程	<p>1 教育研究上の目的 経済学や経営学に関わる高度な研究とそれに基づく教育を行い、先端的な学術成果の創造と高度専門職業人として活躍できる人材の育成を通じて、地域や世界に貢献すること。</p> <p>2 人材の養成に関する目的 (1) 経済学専攻においては、経済に関連する諸問題に対し、経済学の分析方法を基礎として、経済理論、財</p>

		<p>政金融政策、国際経済政策・産業政策、制度・歴史という4つの多様な見地より、幅広い問題意識に応える専門知識や分析能力を身につけた高度専門職業人を養成すること。</p> <p>(2) 経営学専攻においては、企業活動に関わる諸問題に経営・会計・財務・情報の立場からアプローチし、企業マネジメントや会計ファイナンスに関わる高度な専門知識や分析能力を身につけた高度専門職業人を養成すること。</p> <p>(3) 医療経済マネジメントコースにおいては、医学研究科及び薬学研究科と連携して、医療関係者を対象として経済学・経営学</p>
--	--	--

		<p>に関連する高度専門的教育を実施し、病院経営分析や医療政策分析などを通じて、医療を取り巻く環境変化への対応ができる人材を養成すること。</p> <p>(4) 経営者コースにおいては、経営者としての経験を分析し、経営者に求められるマネジメント能力とその形成過程を抽出しつつ、それをもとに次世代経営人材を育成することに意欲のある経営者を養成すること。</p>
	<p>博士後期課程</p>	<p>1 教育研究上の目的          経済学や経営学に関わる高度な研究とそれに基づく教育を行い、先端的な学術成果の創造と研究や高度専門業務に携わる人材の育成を通じて、地域や世界に貢</p>

		<p>献すること。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>(1) 経済学専攻においては、経済学分野における研究活動や高度な専門業務を行う上で基盤となる学識・知見を身につけ、自立して研究活動を行い、先端的学識に基づいて新たな学術成果を創出・発信できる能力をもつ人材を養成すること。</p> <p>(2) 経営学専攻においては、経営学分野における研究活動や高度な専門業務を行う上で基盤となる学識・知見を身につけ、自立して研究活動を行い、先端的学識に基づいて新たな学術成果を創出・発信できる能力をもつ人材を養成する</p>
--	--	---

		こと。
人間文化研究科	博士前期課程	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>豊かで人間らしい生き方を探求し、持続可能な地域社会と地球社会の実現をめざして、人文科学・社会科学の諸分野の研究から、現代の地域社会や国際社会が直面する複雑な諸問題を学際的に捉える能力を育成すること。また、地域と連携した研究・教育の推進を通じて、自らが直面する課題を実践的に解決する能力を育成すること。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>人文社会諸科学の専門領域に関する高度な知識と課題に即した研究能力を身につけた高度職業人や研究者を養成すること。また、獲得した知識・能力を発揮して、グローバルな視</p>

		<p>点とローカルな視点とを併せ持ち、地域と国際社会に対応できる人材、現代社会の諸問題について指導的な役割を果たすことができる人材を養成すること。</p>
	<p>博士後期課程</p>	<p>1 教育研究上の目的 人文科学・社会科学の幅広い知識の上に、現代の地域社会および国際社会における諸問題について高度かつ先進的な国際水準の研究を行い、広く社会に発信する能力を育成すること。また、地域と連携した研究・教育の推進を通じて、自らが直面する課題を実践的に解決する能力を育成すること。</p> <p>2 人材の養成に関する目的 人文社会諸科学の専門領域に関する高度な知識に基づき、先進的研究を遂行す</p>

		<p>る能力を身につけた高度職業人や研究者を養成すること。また、獲得した知識・能力を発揮して、グローバルな視点とローカルな視点とを併せ持ち、地域と国際社会に対応できる人材、現代社会の諸問題について指導的な役割を果たすことができる人材を養成すること。</p>
<p>芸術工学研究科</p>	<p>博士前期課程</p>	<p>1 教育研究上の目的  高度な専門性、感性、技術を身につけ、芸術と工学の融合の視点を持ち、情報デザイン、産業デザイン、建築・都市分野における、高度な専門能力を養うための理論と実践の教育を行うこと。</p> <p>2 人材の養成に関する目的  芸術工学分野における学術研究の追求とその高度化を目的</p>

		とし、より豊かな未来を切り開く原動力となる専門能力を持った人材を養成すること。
	博士後期課程	<p>1 教育研究上の目的 国内外の社会的情勢を学際的な視野で幅広く俯瞰し、デザイン活動の統括管理を行うことができる専門能力を養うための理論と実践の教育を行うこと。</p> <p>2 人材の養成に関する目的 デザイン活動を通して、21世紀基幹産業の拡大及び高次化に対応できる、より高度で豊かな専門能力や学識、技術、創造性を有する研究開発能力を持った人材を養成すること。</p>
看護学研究科	博士前期課程	1 教育研究上の目的 臨地における問題や課題に積極的に取り組む研究・実践能力を養うこと。

		<p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>(1) 看護学・助産学の発展と探究に寄与し、保健・医療・福祉に貢献できる能力を養うこと。</p> <p>(2) 専攻する教育研究分野における問題や課題に取り組む研究・実践能力を養うこと。</p> <p>(3) 専門看護師教育コースにおいては、特定分野における実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究に卓越した能力を有する高度実践看護師を養成すること。</p> <p>(4) 助産学上級実践コースにおいては、高度な実践能力を有する助産師を養成すること。</p>
	<p>博士後期課程</p>	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>健康生活支援や新たなケアシステムに</p>

		<p>関する研究を通じて看護学の学問的構築を推進できる優れた教育研究能力を養うこと。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>(1) 科学の発展や技術の進歩に伴う医療の高度化、社会の構造の変化や国際化などに伴う健康課題の多様化に即した教育、研究を遂行する能力を養うこと。</p> <p>(2) 広い視野と豊かな学識を活用し、自立して、独創的で高度な研究活動を持続する能力を養うこと。</p>
理学研究科	博士前期課程	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>理学分野における研究を通して、科学技術をさらに発展させること、および人類の英知による持続可能な社会の実現に貢献すること。</p>

		<p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>(1) 生命科学、物質科学、数理情報科学の各分野における基礎学力と技術を身に付け、各分野またはその融合分野の発展に貢献できる人材を育成すること。</p> <p>(2) 社会人を含め、従来の学問分野の枠にとらわれない学際的な学問を志す学生を広く受け入れ、地域社会、国際社会で活躍できる人材を育成すること。</p>
	<p>博士後期課程</p>	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>理学分野における高度な研究を通して、科学技術をさらに発展させること、および人類の英知による持続可能な社会の実現に貢献すること。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p>

		<p>る目的</p> <p>(1) 生命科学、物質科学、数理情報科学の各分野における高度な知識と技術を身に付け、各分野またはその融合分野の発展に大きく貢献できる人材を育成すること。</p> <p>(2) 社会人を含め、従来の学問分野の枠にとらわれない学際的な学問を追求する学生を広く受け入れ、地域社会、国際社会の第一線で活躍できる人材を育成すること。</p>
<p>データサイエンス研究科</p>	<p>修士課程</p>	<p>1 教育研究上の目的</p> <p>社会的課題に関わるデータの収集・分析およびそれによる課題解決の提案までを一貫して行う演習を通じて、課題の発見と解決策の立案あるいは関連する社会</p>

		<p>課題解決のための学術研究や技術開発に取り組む、データサイエンスを活用する実践的な能力を養成すること。</p> <p>2 人材の養成に関する目的</p> <p>実社会の多様な課題に関わるデータの収集、管理、分析、考察のために必要となる研究リテラシーやデータ調査、統計解析、ベイズ統計、機械学習やデータ工学など、統計学分野と情報工学分野の高度な知識を有し、それを活用して社会課題やそれに内包される実務課題の解決にアプローチできる、実践的能力を身に付けた人材を養成すること。</p>
--	--	---

(一部改正 令和3年達第4号、令和7年達第42号)